

2023年6月25日号

業務委員会・海外班では、各メンバーが分担し、世界の各地域の飲酒運転やアルコール検知器に関連する情報をクリッピングし、会員のみなさまへお届けするメールマガジンを始めることにしました。お時間あるときに、気軽にご覧ください。

欧州担当 : 吉田委員 (SenseAir)

台湾・韓国担当 : 鍾委員 (SEIKOIST)

中国担当 : 福田委員 (東京企画)

東南アジア・北米 : 杉本委員 (東海電子)

### □韓国

#### 1) 飲酒運転告発褒賞金制度復活するか? 2023年4月21日ニュースより

飲酒運転告発褒賞金制度再導入推進

～11年前は1件当たり30万ウォン支給、最近飲酒運転ハンターまで登場～

子供保護区域(スクールゾーン)で起きた飲酒運転事故で9歳の小学生が亡くなってから1ヶ月経ってはいなかったが、絶え間ない飲酒運転事故が発生している。18日には就職したばかりの20代女性が朝出勤道横断歩道を渡るとき、酔っ払い状態で運転したドライバーによって頭を大きく傷つけ意識を取り戻せずにいる。特に飲酒運転事故を起こした運転者が車両を止めずにそのまま逃走し、女性を救助したのは周辺にいた市民たちと近くにいたタクシー運転士だった。ドライバーは警察の調査で事故を起こした事実は「覚えていない」と述べており、市民たちが激怒した。この中、国内「ここ」で11年ぶりに「飲酒運転告発報奨金制度」を導入する計画だと明らかにして注目を集めた。



#### <濟州島議会常任委で 飲酒運転関連条例案を通過>

濟州自治道議会保健福祉安全委員会は、18日に開かれた第415回臨時会で、濟州自治道が提出した「自治警察事務及び自治警察委員会の運営などに関する組合」改正案を審査し、原案を可決した。

今回の改正案には、**飲酒運転に関する犯罪行為を告発した人に褒賞金を支給できるように関連規定を設け**、飲酒運転告発褒賞金制度運営に関する事務を自治警察事務の具体的な状況と範囲に含む内容を盛り込んでいる。飲酒運転告発褒賞金



写真ソース:濟州消防署

制度の場合、済州で2012年11月末に導入され、約6ヶ月運営されている。

当時申告1件当たり一律に20万ウォンの褒賞金額が策定されたが翌年4月から施行趣旨とずれる申告事例が続出し、血中アルコール濃度の数値により免許取消水準は30万ウォン、免許停止水準は10万ウォンとして差分支給した。賞金額については未定で以前より大きく下がるようです。

このように済州で11年ぶりに飲酒運転告発褒賞金制度再導入を控えているのだが、以前のように件当たり30万ウォンの大きな金額で策定されないものと見られる。11年前に告発褒賞金制度予算の出所は国費だったが、今回は地方費を投入するからだ。

一方、飲酒運転事故が続いて発生し、社会的問題になっている中、酒場近くで潜伏していて、飲酒運転者を捕まえる「飲酒運転ハンター」が登場した。YouTubeチャンネル「飲酒運転ハンターフクロウ」は2人組で構成された。YouTubeチャンネルには彼らが週末の夜を明かして酒を飲んで運転するドライバーを最後まで追って警察に引き継ぐなど追撃映像が上がっている。約3ヶ月前から始まった映像は、これまでなんと10人を超える飲酒運転者を処罰したことが分かる。1.49万人という多くの購読者を保有している彼らは飲酒運転処罰が強化される日までこのような活動を続けていく予定と伝えた。



## □台湾

台湾の飲酒運転事故の最新統計です。

飲酒運転交通事故とは、道路交通安全規則のアルコール反応および呼気の検査でアルコール濃度が0.15mg/L以上であることが判明した運転者（自動車、機関車、動力機械、低速車両を含む）を指します。事故に巻き込まれたすべての運転手、同乗者、歩行者が死亡または負傷しました。



飲酒運転交通事故死者数とは、飲酒運転交通事故によりその場で死亡した人、または 30 日以内に死亡した人の数をいいます。飲酒運転交通事故統計は来月 25 日に速報値が発表されますが、警察庁の交通事故資料や厚生省の死因統計が改訂される可能性があるため、過去 1 年間のデータが公表されます。見直される可能性があります。

### 飲酒運転を一切容認せず、死傷者ゼロを目指して闘います

飲酒運転違反の取り締まり・検挙件数と交通事故による死傷者数

年	禁止された違反の数	移送された訴訟件数	アルコール濃度 0.15mg/L 以上の飲酒運転による死傷者数	第一当事者の主な原因 [注1]		アルコール濃度 0.15mg/L以上で飲酒運転した運転者 [注2]		
				24時間以内の死亡者数 (A1)	負傷者数 (A1+A2)	30日以内の死亡者数	負傷者の数	
2019年	108	91,620	53,365	9,122	149	4,991	294	11,607
2020年	109	82,626	48,054	8,893	151	4,983	289	11,225
2021年	110	59,454	36,248	8,647	163	4,836	311	10,891
2022年	111	62,403	35,145	7,849	140	4,507	271	9,853
2023年 1月-3月	112.1 ~ 3	15,385	8,600	1,952	41	1,081	74	2,472

## □ベトナム

### 1) June 6, 2023 ベトナムのニュース記事

#### “飲酒運転の車がボンネットに男性が引っかかったまま複数の車両に衝突”

ベトナムビンズオン省の赤信号で、一台の車が複数のオートバイに突っ込み、ボンネットに男性が引っかかったまま前進を続け、さらに他の車両に衝突しました。

ドライバーのヴァー・トゥアン・アン (30 歳) は、火曜日の午後、この南部省で登録された 4 人乗りの車を運転しており、ホーチミン市と境を接するテュアン・アン町の赤信号で複数のオートバイドライバーに衝突しました。



警察はアンが飲酒運転をしていたことを発見しました。アルコールテストによれば、彼の呼気中の



アルコール濃度は1リットルあたり0.743ミリグラムでした。この衝突事故により、男性が車のボンネットに引っかかり、車は前進を続けました。ボンネットの上の男性が道路に落ちた後、車はさらに2台のオートバイと道路脇に駐車していたピックアップトラックに衝突し、道路の分離帯にぶつかった後でようやく停止しました。この事故により3人が負傷しましたが、死者は報告されていません。アンは刑事訴訟を受けて拘留されています。

ベトナムでは、運転中に体内に一定のアルコールが存在することは違法です。血液100ミリリットルあたり最大50ミリグラム、あるいは呼気1リットルあたり0.25ミリグラムのアルコール濃度を持つ車の運転手は、最大800万VNDの罰金を科せられ、最長12ヶ月間運転免許を取り消されます。

[https://e.vnexpress.net/news/news/traffic/drunk-car-driver-crashes-into-multiple-vehicles-with-man-stuck-on-hood-4614688.html?utm\\_source=eVnExpress&utm\\_medium=social\\_Twitter&utm\\_campaign=sharelink\\_20230607&utm\\_content=Traffic](https://e.vnexpress.net/news/news/traffic/drunk-car-driver-crashes-into-multiple-vehicles-with-man-stuck-on-hood-4614688.html?utm_source=eVnExpress&utm_medium=social_Twitter&utm_campaign=sharelink_20230607&utm_content=Traffic)

## 2) ハノイで飲酒運転防止セミナーで アルコール検知器協議会の紹介

アルコール検知器協議会の海外班として筆者(杉本)がハノイで行われたJICAとアルコール検知器メーカー(東海電子です)共催のセミナーに登壇、日本の業界団体による飲酒運転防止活動(業務委員会の広報活動、警察庁や運輸省等行政連携、技術委員会によるアルコール検知器認定制度等)を30分間説明しました。



## □欧州（ポルトガル）

ポルトガルの国家交通安全局（ANSR – National Road Safety Authority）、道路予防局（PRP – Portuguese Road Prevention）、欧州運輸安全評議会（ETSC – European Transport Safety Council）による、飲酒運転に関する国際会議 Safe & Sober Portugal が 2023 年 4 月 3 日にポルトガルのリスボンで開催されました。概要は以下です。

テーマは「飲酒運転との戦いとアルコールインターロックの貢献」

### ○講演

- ・ヨーロッパにおけるアルコール
- ・アルコールと運転：ヨーロッパとポルトガル
- ・フランスのアルコールインターロックプログラム
- ・アルコールインターロックの概要 ALCOHOL COUNTERMEASURE SYSTEMS
- ・ヨーロッパにおけるアルコールインターロック
- ・スウェーデンの概要
- ・ベルギーの概要

### ○内容：

- ・欧州委員会が発表した暫定データによると、2022 年には欧州連合（EU）内の道路で約 20600 人が死亡し、パンデミック後に交通量がまだ回復していた 2021 年と比べて 3%増加した。2030 年までに死者と重傷者を 50%削減するという EU の目標の基準年である 2019 年と比べて 10%減少した。
- ・アルコールの影響下での運転は、道路での死亡の主な原因の 1 つである。
- ・EU 内の走行距離の約 1.5~2%が血中アルコール濃度が違法な状態で運転されており、EU における交通事故死のうち約 25%はアルコールに関連している。
- ・飲酒運転に対する考え方の変化、立法措置の導入、監督のさらなる強化は、アルコールによる交通死者数の減少に重要な役割を果たした。
- ・しかし、傾向は国ごとに異なり、EU では引き続きアルコール影響下での運転が道路の安全に重大な問題を引き起こしている。
- ・新しいアプローチを使用してこの問題に対処する必要があるため、いくつかの国はすでに別の種類の手段、つまりアルコールロック（\*）の導入を採用している。
- ・アルコールロックで得られた肯定的な結果と、このシステムを導入したスウェーデン、ベルギー、フランスなどの国と経験を共有できることは、ポルトガルにとってチャンスとなるため、ANSR、PRP、ETSC は「飲酒運転との戦いとアルコールインターロックの貢献」と題されたこの国際会議を推進しています。



## (\*) アルコールインターロック

アルコールインターロックは、飲酒運転を防止するために開発された自動制御システムです。EUではフィンランド、スウェーデン、デンマーク、リトアニア、ポーランド、オーストリア、イタリア、ベルギー、フランスの9か国で飲酒運転違反者への装着が法制化されている。車両に設置されているアルコールインターロック装置は、アルコール検知器がエンジン始動機構に接続されている。


そして、運転を開始する前にドライバーがアルコールインターロック装置に呼気を吹きかけ、血中アルコール濃度が法律で定められた制限値を下回った場合にエンジンを始動することができる。(ポルトガルでは保護観察中の運転手および救助車両の運転手、緊急サービス、子供の公共交通機関、タクシー、重量物または乗客の車両、および物品または乗客の危険物の輸送用車両が0.2g/l、その他の運転手の場合は0.5g/l)。事故への影響に関する研究の評価では、法律に組み込まれたアルコールインターロックプログラムは、再犯の減少につながるだけでなく、アルコール関連の死亡者数の減少にもつながることが示されています。

<https://etsc.eu/safe-and-sober-talk-the-fight-against-drink-driving-in-portugal/>

## □アメリカ

### 1) アメリカ NHTSA から、全米の飲酒運転事故統計が公表されました。

2023年6月に飲酒運転の事故統計が公表されました。相変わらずアメリカは年間1万人以上飲酒運転死者がいます。車種ごと、年齢ごと、季節ごと、基本的な飲酒態様の統計となっています。大型車両の個別レポートもあり、大型車両の飲酒運転統計が記載されていました。



**Traffic Safety Facts 2021 Data**  
DOT HS 813 450 June 2023

### Alcohol-Impaired Driving

In this fact sheet for 2021, the information is presented as follows:

- Overview
- Estimates, Cost for All Traffic Crashes
- Drivers
- Children
- Crash Characteristics
- Time of Day and Day of Week
- State
- Important Safety Messages

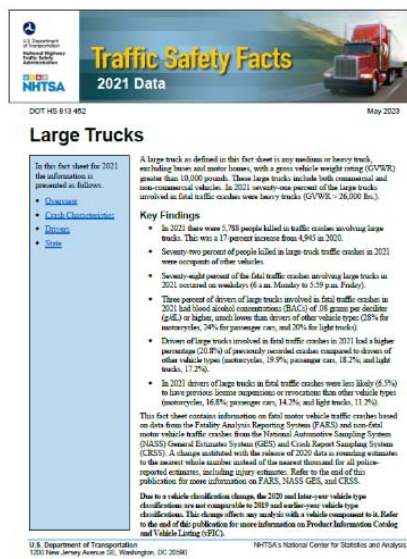
Drivers are considered to be alcohol-impaired when their blood alcohol concentrations (BACs) are 0.08 grams per deciliter (g/dL) or higher. Thus, any fatal crash involving a driver with a BAC of 0.08 g/dL or higher is considered to be an alcohol-impaired-driving crash, and fatalities occurring in these crashes are considered to be alcohol-impaired-driving fatalities. The term "drunk driving" is used instead of alcohol-impaired driving in some other NHTSA communications and material. The term "driver" refers to the operator of any motor vehicle, including a motorcycle.

Estimates of alcohol-impaired driving are generated using BAC values reported to the Fatality Analysis Reporting System (FARS) and BAC values imputed when they are not reported. For more information on multiple imputation, see Analytic Department of Safety Blood Alcohol Concentrations (BAC) Values in FARS. In this fact sheet NHTSA uses the term "alcohol-impaired" in evaluating the FARS statistics. In all cases throughout this fact sheet, use of the term does not indicate that a crash or a fatality was caused by alcohol impairment, only that an alcohol-impaired driver was involved in the crash. This report also includes BACs of .09 g/dL (no alcohol), .11 g/dL, and .15 g/dL solely for comparison purposes.

#### Key Findings

- In 2021 there were 13,384 fatalities in motor vehicle traffic crashes in which at least one driver was alcohol-impaired. This represented 31 percent of all traffic fatalities in the United States for the year.
- Fatalities in alcohol-impaired driving crashes increased by 14.2 percent (11,718) in 2021 (fatalities from 2020 to 2021).
- One alcohol-impaired-driving fatality occurred every 39 minutes in 2021, on average.
- The 21- to 24-year-old age group and the 21- to 34-year-old age group had the highest percentage (27% each) of alcohol-impaired drivers involved in fatal crashes compared to other age groups in 2021.
- In 2021 there were about 6 male alcohol-impaired drivers involved for every female alcohol-impaired driver involved.

© 2023 U.S. Department of Transportation, NHTSA's National Center for Statistics and Analysis



**Traffic Safety Facts 2021 Data**  
DOT HS 813 452 May 2023

### Large Trucks

In this fact sheet for 2021, the information is presented as follows:

- Overview
- Crash Characteristics
- Drivers
- Time

A large truck as defined in this fact sheet is any medium or heavy truck, excluding buses and motor homes, with a gross vehicle weight rating (GVWR) greater than 10,000 pounds. These large trucks include both commercial and non-commercial vehicles. In 2021 seventy-one percent of the large trucks involved in fatal traffic crashes were heavy trucks (GVWR > 26,500 lbs.).

#### Key Findings

- In 2021 there were 5,789 people killed in traffic crashes involving large trucks. This was a 17 percent increase from 4,943 in 2020.
- Seventy-two percent of people killed in large truck traffic crashes in 2021 were occupants of other vehicles.
- Seventy-eight percent of the fatal traffic crashes involving large trucks in 2021 occurred on weekdays (6 a.m. Monday to 5:59 p.m. Friday).
- Three percent of drivers of large trucks involved in fatal traffic crashes in 2021 had blood alcohol concentrations (BACs) of 0.08 grams per deciliter (g/dL) or higher, much lower than drivers of other vehicle types (28% for motorcycles, 34% for passenger cars, and 30% for light trucks).
- Drivers of large trucks involved in fatal traffic crashes in 2021 had a higher percentage (23.8%) of previously recalled crashes compared to drivers of other vehicle types (motorcycles, 16.8%; passenger cars, 18.2%; and light trucks, 11.2%).
- In 2021 drivers of large trucks in fatal traffic crashes were less likely (6.5%) to have previous license suspensions or revocations than other vehicle types (motorcycles, 16.8%; passenger cars, 18.2%; and light trucks, 11.2%).

This fact sheet contains information on fatal motor vehicle traffic crashes based on data from the Fatality Analysis Reporting System (FARS) and non-fatal motor vehicle traffic crashes from the National Automotive Sampling System (NASS) General Estimates System (GES) and Crash Report Sampling System (CRSS). A change published with the release of 2020 data is rounding estimates to the nearest whole number instead of the nearest thousand for all police-reported estimates, including injury estimates. Refer to the end of this publication for more information on FARS, NASS, GES, and CRSS.

Due to a vehicle classification change, the 2020 and later year vehicle type classifications are not comparable to 2021 and earlier year vehicle type classifications. This change affects any analysis with a vehicle component in a table to the end of this publication for more information on Product Information Coding and Vehicle Listing (VLIST).

U.S. Department of Transportation, NHTSA's National Center for Statistics and Analysis

<全米・全車種>

<https://crashstats.nhtsa.dot.gov/Api/Public/ViewPublication/813450>

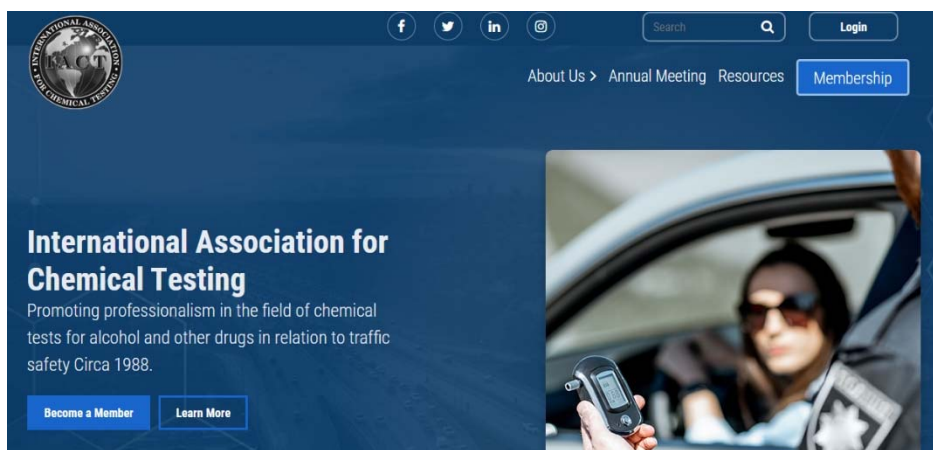
<全米・Large Trucks>

<https://crashstats.nhtsa.dot.gov/Api/Public/ViewPublication/813452>

## 2) IACT 年次総会について

法医学・科警研系とでもいいでしょうか。

International Chemical Testing Association 国際化学検査協会という団体があります。  
毎年総会のようなものを開催しているようです。



### ウェブサイトの団体説明

『国際化学検査協会は、主に交通安全に関連した化学検査に従事する政府機関の従業員で構成されています。彼らは地元、郡、教区、州、国、あるいは国際レベルで活動しています。この組織 (IACT) は、1987 年にマサチューセッツ州ボストンで交通局が後援したシンポジウムを経て、1988 年 3 月にイリノイ州シカゴで設立されました。

我々の組織は科学者と刑事司法の専門家から構成されており、研究者、犯罪学者、法医学者、規制検査官、製造業者代表、法執行機関の職員などが含まれます。400 人以上のメンバーは、ほとんどの州といくつかの国際メンバーから代表者を募っています。年間会費はメンバー1 人あたり 50.00 ドルです。我々は立法、トレーニング、会員、倫理、連邦機関とのコミュニケーション、現行の機器、新しい機器と手順、製造業者、出版に対応する常設の委員会を持っています。また、州の化学検査プログラムと製造業者代表のメーリングリストを保持しています』

この協会は、法医学・鑑識における化学検査 (分析) 主であり、血中アルコールや呼気アルコールの原理に近い部分もオーソライズしていると

編集：業務委員会 海外班 杉本  
2023.06.26